

2019年5月31日

各 位

株式会社 紀陽銀行

国立大学法人和歌山大学および紀陽情報システム株式会社との 「データサイエンス分野における連携協力に関する協定」締結について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、データサイエンス分野における産学連携の取り組みを推進するため、国立大学法人和歌山大学（学長：伊東 千尋、以下「和歌山大学」）および紀陽情報システム株式会社（代表取締役社長：島 慶司、以下「KJS」）と「データサイエンス分野における連携協力に関する協定」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

AIによるデータの利活用やIoT推進の必要性が高まる中、地域におけるAI人材の育成が課題となっています。今回の協定締結により、和歌山大学およびKJSと連携し、AIの共同研究や教育プログラムの共同開発等を実施することで、地域におけるAI人材の育成を推進し、データ分析の高度化や和歌山県内のIoT推進を目指してまいります。

記

1. 協定内容について

締結日	2019年5月31日（金）
締結先	国立大学法人和歌山大学および紀陽情報システム株式会社
目的	データサイエンス分野における産学連携の取組を推進すること
連携内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) データサイエンス分野の人材育成、教育開発に関する事項 (2) マーケティング実務の意思決定に活かすデータサイエンスの研究に関する事項 (3) 教育及び研究用ビッグデータの提供 (4) その他連携協力機関が協議して必要と認める事項

2. 具体的な取り組みについて

(1) 官民データの利活用

当行が保有するデータ（個人情報を除く）と和歌山県から提供されるデータを統合してビッグデータを作成し、共同で分析をおこなう。

(2) AI人材の育成

(1) で作成したビッグデータを活用し、AIの共同研究や教育プログラムの共同開発等を実施する。

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」につながる取り組みです。

